

# 東北地方 1か月予報

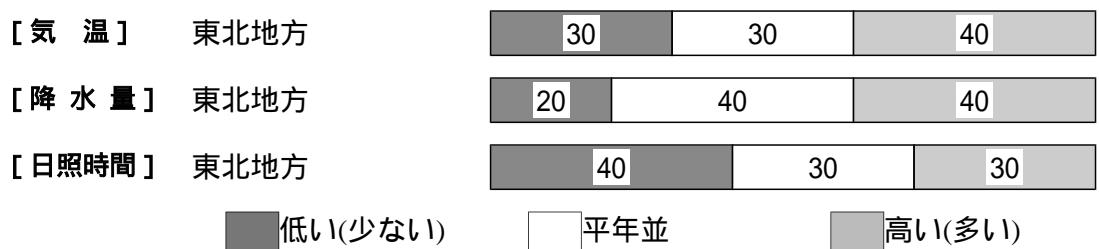
(10月3日から11月2までの天候見通し)

平成21年10月2日  
仙台管区気象台発表

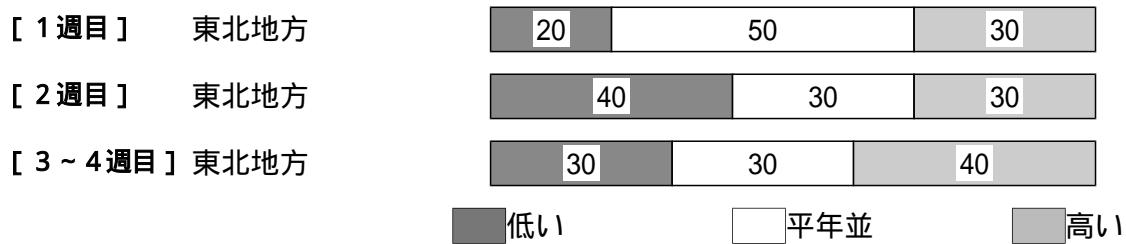
## <予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。  
天気は数日の周期で変わるでしょう。期間のはじめは平年に比べ曇りや雨の日が多い見込みです。  
向こう1か月の降水量は、平年並または多い確率がともに40%です。  
週別の気温は、1週目は平年並の確率が50%です。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



## <気温経過の各階級の確率(%)>



## <予報の対象期間>

1か月 : 10月 3日(土) ~ 11月 2日(月)  
1週目 : 10月 3日(土) ~ 10月 9日(金)  
2週目 : 10月 10日(土) ~ 10月 16日(金)  
3~4週目 : 10月 17日(土) ~ 10月 30日(金)

## <次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は10月9日  
3か月予報:10月22日(木) 14時

## <参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温 ( )	降水量 (mm)	日照時間 (時間)	気温( )		
				1週目	2週目	3~4週目
青森	12.1	108.9	149.8	14.6	13.1	11.0
深浦	12.9	162.4	132.2	15.2	13.9	11.9
むつ	11.8	114.1	158.4	14.1	12.7	10.7
八戸	12.3	78.1	163.6	14.6	13.3	11.2
秋田	13.2	159.6	144.5	15.6	14.1	12.1
盛岡	11.3	98.6	148.1	13.9	12.4	10.1
大船渡	13.3	140.9	147.4	15.6	14.3	12.3
宮古	12.7	107.8	156.6	14.9	13.6	11.7
仙台	14.4	99.8	152.6	16.7	15.4	13.3
石巻	13.8	103.1	159.9	16.1	14.8	12.7
山形	12.7	77.1	130.6	15.3	13.8	11.6
新庄	11.9	156.7	102.5	14.5	12.9	10.7
酒田	14.3	175.2	139.7	16.5	15.2	13.2
福島	14.3	95.2	141.0	16.7	15.4	13.2
若松	12.7	76.4	119.0	15.4	13.9	11.4
白河	12.8	107.8	145.4	15.1	13.8	11.7
小名浜	15.7	150.3	156.9	17.8	16.6	14.7

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5 ~ +0.3	81 ~ 109	96 ~ 104
東北日本海側	-0.6 ~ +0.3	87 ~ 109	96 ~ 103
東北太平洋側	-0.4 ~ +0.3	67 ~ 117	97 ~ 105

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6 ~ +0.6	-0.8 ~ +0.6	-0.5 ~ +0.4
東北日本海側	-0.6 ~ +0.6	-0.8 ~ +0.6	-0.5 ~ +0.4
東北太平洋側	-0.5 ~ +0.6	-0.7 ~ +0.6	-0.5 ~ +0.5

## <参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を受けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

# 東北地方 1か月予報解説資料

平成21年10月2日 仙台管区気象台

## 1. 出現の可能性が最も大きい天候

### 向こう1か月(10月3日～11月2日)：

天気は数日の周期で変わるでしょう。期間のはじめは平年に比べ曇りや雨の日が多い見込みです。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

### 1週目(10月3日～10月9日)：

気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は平年並の確率が50%です。

### 2週目(10月10日～10月16日)：

天気は数日の周期で変わるでしょう。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

### 3～4週目(10月17日～10月30日)：

天気は数日の周期で変わるでしょう。

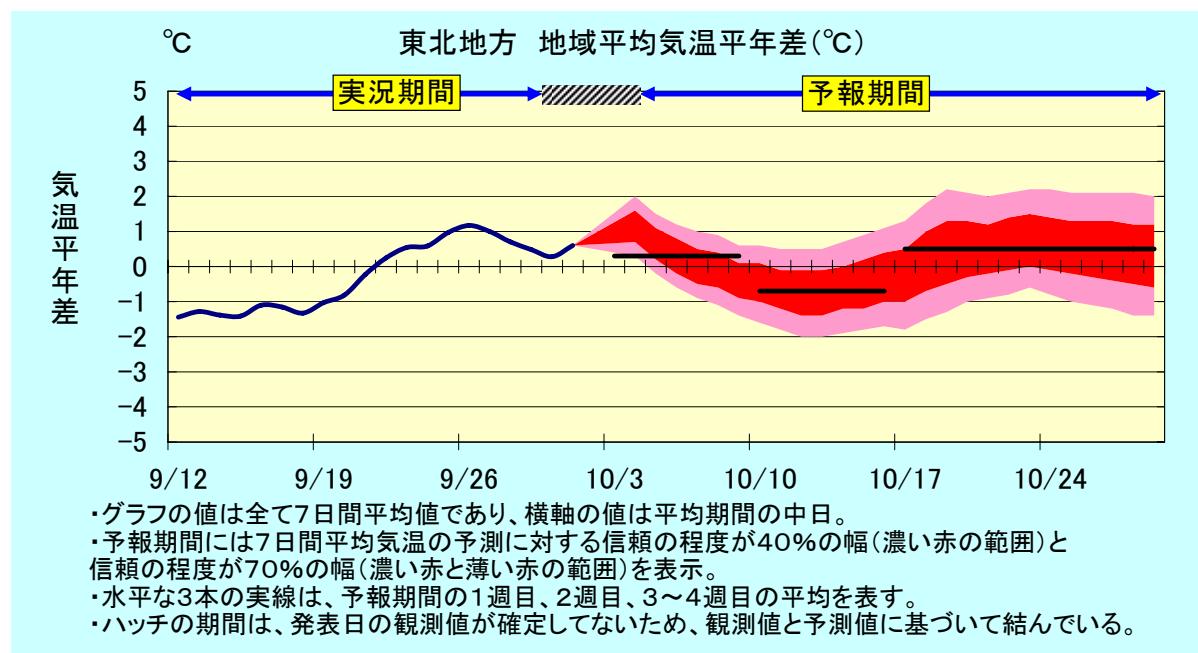
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3～4週目
東北日本海側	13.4日	3.4日	3.4日	6.6日
東北太平洋側	16.1日	3.6日	4.0日	8.5日

## 2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1週目は平年付近、2週目は平年を下回り、3～4週目は平年付近の予想となっている。

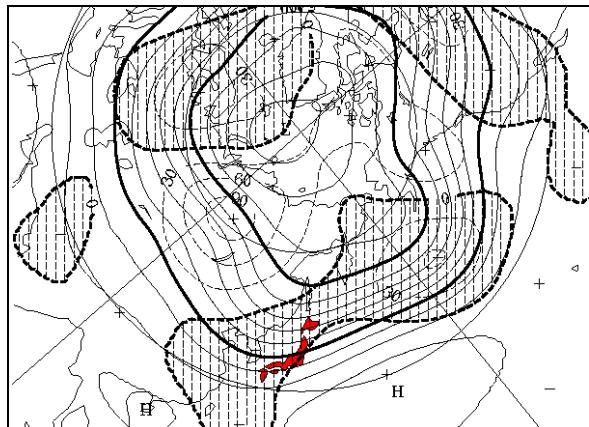


### 3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

**1か月平均:** 日本の南東海上は正偏差。一方、オホーツク海から沿海州、東シナ海にかけて負偏差で、日本付近は西谷傾向。東北地方にも負偏差がかかるが偏差は小さい。天気は数日の周期で変わると、期間のはじめは平年に比べ曇りや雨の日が多い見込み。

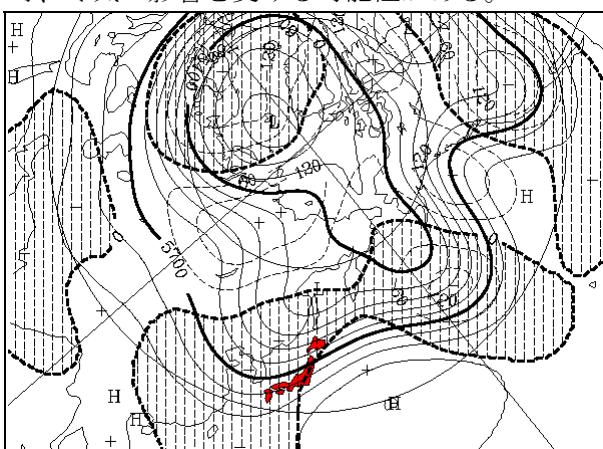
**1週目:** 日本の東海上は正偏差。一方、オホーツク海から沿海州、東シナ海にかけて負偏差で、日本付近は西谷が明瞭。気圧の谷や前線の影響を受けやすい見込み。

**2週目:** 日付変更線付近から黄海にかけて帶状に負偏差が広がり、日本付近も負偏差となる。一時、寒気の影響を受ける可能性がある。

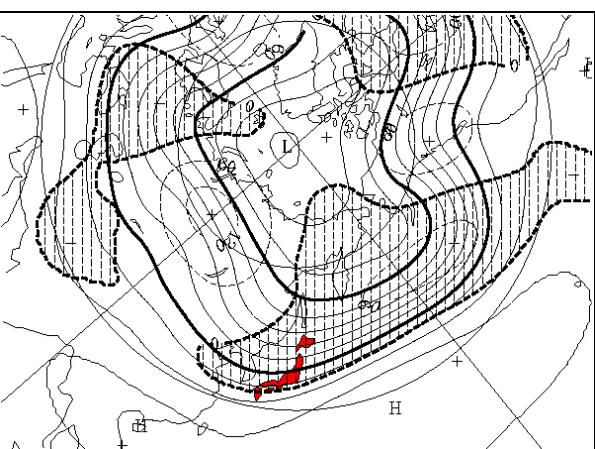


1か月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1,2週目と同じ  
ただし平年差の間隔は30m毎)



1週目平均 500hPa 予想天気図



2週目平均 500hPa 予想天気図

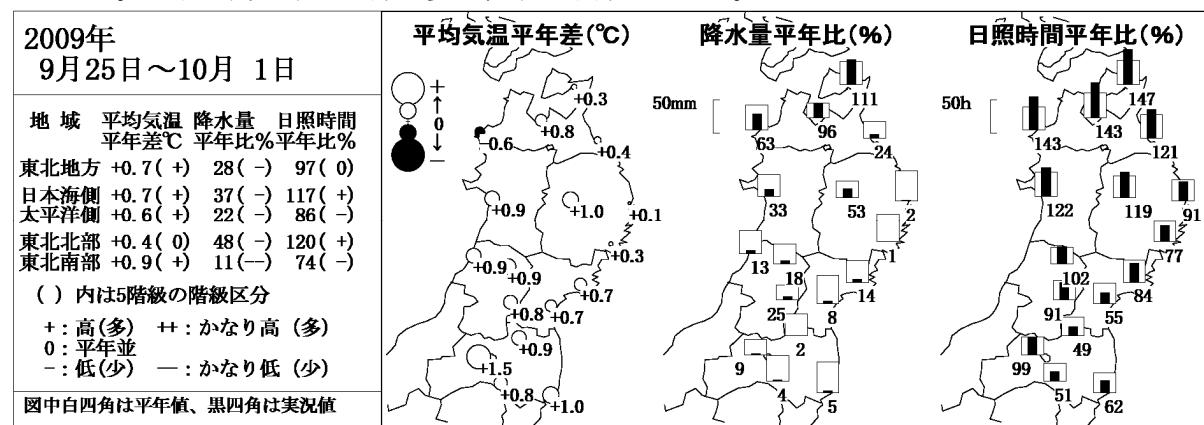
実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

### 4. 最近1週間 (9月25日～10月1日) の天候の経過

この期間、東北北部では、28日から29日にかけて前線が東北地方を通過した影響で曇りや雨となった他は、高気圧におおわれて晴れの日が多くた。東北南部では、期間のはじめは高気圧におおわれて晴れの日もあったが、その後は、前線や湿った東よりの風の影響により曇りの日が多くた。

平均気温は東北北部で平年並、東北南部で高い。降水量は東北北部で少なく、東北南部でかなり少ない。日照時間は東北北部で多く、東北南部で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）